

熊本福祉センター 2013 年度事業報告

1. 2013 年度総括

2013 年度は、「障害者総合支援法」が施行され、本年 1 月 20 日には政府において「障害者権利条約」が批准されるなど、我が国の障害者福祉は大きく前進した。このような環境の中、熊本福祉センターでは「安定と充実」をキーワードに、共生社会実現のため相談支援や生活支援、就業支援の一層の充実に努めた。

2. 2013 年度活動報告

(1) 経営基盤の安定

- ① 利用者定員の利用率の向上に努めた結果、利用者(児)の延べ利用者数は前年より 3,807 名増加した。内田施設の自立支援費収入は 6,639 千円増加したが、人件費等の増加により収支差は 15,374 千円減少した。

・利用者(児)の延べ利用者数の推移 (単位:人)

事業	2011 年度	2012 年度	2013 年度	前年比	備考
かがやき	14,523	10,032	10,191	159	2012 年度新体系移行
ほほえみ	10,615	10,011	9,983	▲28	2012 年度新体系移行
ウイズ	10,012	12,185	12,197	12	2011 年度新体系移行
グループホーム	18,313	29,154	29,813	659	2011 年度は通勤寮含
短期入所	158	225	367	142	
相談支援センター	—	163	1,312	1,149	2012 年 10 月指定
なでしこ園	5,035	5,801	5,851	50	2012 年度新体系移行
なでしこ園相談支援	—	61	456	395	2012 年 10 月指定
しらふじ保育園	33,898	37,394	38,663	1,269	2012 年度定員 150 名
合計	92,554	105,026	108,833	3,807	

- ② 就労継続支援(授産)事業においては JCI 対応等によりクリーニングの数量が増加、ベーカリーではホームページを活用したギフトセット紹介やオリジナル商品の開発、食品部門ではカットサラダ製造の新規受注により採算性の向上に努めた。

・就労継続支援事業の収支状況 (単位:千円)

事業	クリーニング	食品	カフェ	清掃	内田パン	生活	合計
収支差	28,094	▲5,320	5,615	2,816	935	1,455	33,595
前年比	▲10,012	+1,513	▲407	▲657	▲495	+881	▲9,177
利用者数	29 名	19 名	12 名	24 名	9 名	35 名	128 名
支払工賃	31,230	6,333	2,519	15,403	1,850	1,135	58,470

- ③ なでしこ園においては「新体系定着支援事業(9割保障)」の廃止により補助事業収入が 12,600 千円減少したが、相談支援事業では 6,288 千円の収入があった。
- ④ しらふじ保育園では「延長保育・障がい児保育・学童保育・一時預かり」等の特別保育の充実努めたが、処遇改善による人件費増加等で収支差は 7,837 千円減少した。

(2) 質の高い福祉サービスの提供

① 施設整備

- ・老朽化したグループホームへの対応として、10月「あじさいホーム」(定員5名・借家)を閉鎖、「さいせい東2番館」(定員5名・借家)を開設した。
- ・3月、雨漏り等が発生していた「うちだ2番館」の屋根、外壁の塗装修理を行った。
- ・日本財団からの補助金交付により、送迎車両を3台(かがやき・ほほえみ・ウイズ)入れ替えた。
- ・しらふじ保育園では延長保育充実のため、保育室を増築した。

② 利用者満足度調査・自己評価の実施

- ・各施設の利用者(児)満足度調査における大変満足・満足の比率

施設	かがやき	ほほえみ	ウイズ	GH	なでしこ	しらふじ
満足度	50%	54%	44%	51%	89%	58%

- ・熊本市では毎年の自己評価と、3年毎の第三者評価受審が義務付けられた。

施設	かがやき	ほほえみ	ウイズ	GH	なでしこ
種類	自己評価	自己評価	自己評価	自己評価	第三者評価
該当	37項目	36項目	33項目	30項目	a:61項目 b:8項目 c:0項目
非該当	5項目	2項目	6項目	5項目	

③ 苦情解決制度に積極的に取り組んだ。

施設	かがやき	ほほえみ	ウイズ	GH	なでしこ	しらふじ	合計	未解決
件数	9件	16件	13件	15件	6件	2件	61件	0

④ 就労継続支援事業における熊本病院のJCI認証取得対応

- ・清掃、カフェ、クリーニング事業等において、防災対策、感染対策などのリスクマネージメントの充実を図った。

⑤ 熊本県地域生活定着支援センターへの取組

- ・南高愛隣会の事業撤退を受け、2014年度より熊本県の委託事業として公益事業「熊本県地域生活定着支援センター」を開始した。(済生会では4件目)

(3) 地域社会・家族との連携

① 福祉ネットワーク構築のための情報交換会の開催

- ・利用者の高齢化に対応するため、9/25に地域の高齢者支援センターや福祉施設等の5施設との情報交換会、2/26に入所施設との連絡会を開催した。

② 家族会・保護者会と連携し、各種スポーツ大会・行事などを実施、参加した。

- ・障害者スポーツ大会、施設親善スポーツ大会、駅伝大会、熊本市障害者運動会
- ・内田夏祭り、天明夏祭り、どんどや、清掃活動、運動会、ホームカミングデー等